

事業所名：ABA 推進事業所ルカノア 南幌教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		個別療育の為個室3部屋を用意し、共有の部屋を集団または遊び用と、用途に応じて適切に利用している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		個別指導の為、職員1名：子供、保護者の利用	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		室内はバリアフリー、怪我をしないように配慮している。	転倒防止用クッションマット
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		個別指導に沿った部屋の用具を設置する。	おもちゃの消毒について
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		基本個別指導です。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		一年に一度は必ず実施	出来るだけ保護者のご意向に沿う形で業務
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		定期的に研修会を行っている。	

	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	検討中です	検討中です
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		4	優先的に確保されています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		4	支援プログラムを作成公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。		4	日頃から保護者ニーズを把握した上で支援計画を立てている。	オリジナルのアセスメントツールを作成
	13	児童発達支援計画を作成するには、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		4	職員全体で常に情報を共有するようセラピーの後に確認をしている。	これからも継続していく
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		4	基本計画にそって支援を行なわれている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		4	オリジナルアセスメントを使用し、子どもの状況を分析している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		4	本事業所は自閉症の療育に特化している。	本人のできる事を増やしていく

	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		職員全体で行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		課題達成出来たら次に進む一覧表を作成。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		個別指導の為基本集団活動は行わない。	保護者から課題の一環として要望があれば検討、実施していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		毎日支援終了前にセラピーの打ち合わせをするよう心がけている。	課題の進め方が合っているか質問疑問点がないか上司が常にチェックしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4			職員間で支援の共有を密にしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		記録は個別支援ごとに詳細を記録している。	記録が支援に大事な役割を果たしている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			モニタリングにより見直しが必要か否かは担当者同士で話し合い検討する。
関係機関や保護者との連携関係	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		職員全体で行っている。	職員間で支援の共有を密にしている。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		南幌保険健康センターの職員と連携して支援しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援	4		幼稚園、特別支援学校の先生が来所して下さり情報を共有している。	担任の先生が変わった時の情報共有の方法について

機 関 や 保 護 者 と の 連 携		学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		行っています。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4		必要に応じて設けている。	定期的な相談支援を検討
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4	個別セラピーを主に行っているため、他との交流はありません。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		個別セラピーは保護者同伴の為共通理解しています。	セラピーの合間にセラピストに相談、話し合いを行う
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		個別指導ではペアとトレーニングの為に保護者に来ていただく。	要望があれば研修の機会を設けたい

保護者への説明責任等

35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時に資料を配布し、担当者から説明が行われる。	この際にご理解いただけるような丁寧な説明を重要視する
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		ABA に添って支援を行う同意を得ている。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		必ず説明の時間を設けて行き、同意を得ている。	限られた時間内での説明時間の確保
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		特にセラピーに関しては、後に疑問が残らないよう質疑応答するよう心掛けている。	限られた時間内での説明時間の確保
39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4	父母の会はありませんが、保護者同士の連携を支援している。	
40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		迅速かつ適切に対応している。	急ぎの場合は電話相談も可能
41	定期的に通信等を発行することや、HP や SNS 等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		ブログに定期的に様々な情報を発信している	
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		十分に留意しています。	個別資料は厳重に保管、職員に周知
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		配慮しています。	

	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4	個別指導の為、地域住民を招待するような行事は行っていない。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		4	定期的に避難訓練を実施	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		4	訓練は夏休みなど親子で参加してもらう	防災、風水害、地震等の訓練を年4回
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		4	アセスメントで事前に確認	定期的に状況を確認
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		4	こちらで食事おやつを用意することがない	アレルギーのお子さんはおやつを持参してもらう。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		4	事故を想定して危険なものは予め排除	安全管理の中支援が行われている。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		4		契約時に周知している。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		4		共有し、安全対策に努めています。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		4		月に1度の虐待防止委員会を行っている	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た		4		身体拘束はしていない	

	上で、児童発達支援計画に記載しているか。				
--	----------------------	--	--	--	--

◎この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表：令和8年3月19日

事業所名：ABA 推進事業所ルカノア南幌教室 保護者等数（児童数）4 回収数3 割合 75%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	3					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者の二	3					

		ーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3				
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	1	1		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング	3				

	等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。						
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	3					
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3					
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3					
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。				3		
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3					
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3					

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	3				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3				
非常時の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3				
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1		2		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	3				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	3				

	29	事業所の支援に満足していますか。	3					
--	----	------------------	---	--	--	--	--	--

◎この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所名：ABA 推進事業所ルカノア南幌教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		個室3部屋と共有の部屋が1室あり、適切に利用している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		個別指導のため、職員1対子ども1での利用	個別指導のため、職員1対子ども1での利用
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		室内はバリアフリーになっており、怪我をしないよう配慮している。	転倒防止用クッションマットを全室使用する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		常に掃除を心掛け、おもちゃは使用后消毒しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		個別指導のため、職員1対子ども1での利用	個室3部屋と共有の部屋が1室あり、適切に利用している。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		職員間で積極的な話し合いが行われている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			検討中です。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		会議内で検討し、改善につなげている。	定期的に研修会を行う。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		検討中です。

	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4			保護者のご要望、現在のセラピーの進行状況、を踏まえた上で必要性を判断している
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			集団は行っていないが、保護者からの要望があれば検討します。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		支援の引継ぎの為、支援ノートを確認し必要に応じて話し合う。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		終了後、話し合い共有し、次の支援に繋げている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		記録を取り検証、改善に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		必ず行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	4		行っています。	地域交流の活動を拡充したい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		行っています。	
関係機関や保護	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		しています。必要に応じて公認心理士も参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携し	4		参加している。	

者との連携関係機関や保護者との連携		て支援を行う体制を整えているか。				
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。		4	現在送迎は行っていません。	毎回支援は親子で利用しているので、常に連絡できる体制になっている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4		必要な場合行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4		設けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4		個別指導の為、他地域との子供と交流する機会がない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			毎日保護者が来ているので、共通理解をしている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		個別指導では、ペアレントトレーニングの為に保護者に来ていただいている。	
保護者	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時に説明しています。	

への説明責任等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		こどもや家族の意向を確認したうえで適切な支援が出来るようにしている。	希望があれば電話相談も対応
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		必ず支援の前に説明を行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		必要に応じて希望があれば面談を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4		父母の会はありませんが、保護者同士の連携を支援しています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		苦情については速やかに対応する	職員間で共有できる体制を取っている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HP や SNS 等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4			アレルギーのあるお子様はおやつを持参してもらっている
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		unnecessary書類はシュレッダー処分	職員間で周知
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			子どもの意思疎通が出来るように、親子でABA セラピーを学んでもらっている。

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4	個別指導を主としてしているので行っていません	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		4	防災については、親子で夏休みに参加してもらう。	より多くの保護者の方に訓練に参加して頂けるよう発信していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		4	年に火災2回、地震1回、風水害訓練をおこなっている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		4	アセスメントで確認、必要であれば詳細を保護者に確認する。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		4	アセスメントで確認、必要であれば詳細を保護者に確認する。	アレルギーのあるお子様はおやつを持参してもらっている
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		4	セラピーを基本とするため常に保護者がそばにあり、安全管理のもと進められる。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		4	セラピーを基本とするため常に保護者がそばにあり、安全管理のもと進められる。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		4	全職員で共有	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		4	研修を定期的に行っています。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た		4	身体拘束は認めていません。		

	上で、児童発達支援計画に記載しているか。				
--	----------------------	--	--	--	--

◎この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所名：ABA 推進事業所ルカノア南幌教室 保護者等数（児童数）14 回収数11 割合 78%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	1				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	1				
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者の二	11					

		ーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9			2	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9			2	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11				
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。		1	8	2	個別療育を行っている為、他の児童デイの子どもとの交流は必要ないと思います。
保護者への	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11				

説明等	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9			2	ペアレントトレーニングですが、研修会やイベント情報がもっと欲しい	研修会は行っていないが、必要に応じて情報提供できる様心掛けていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	11					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	1				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	3	6		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申	9				2	

		入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	8			3	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10			1	
非常時の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	2		2	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7			4	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10			1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされ	10			1	

		ていると思いますか。					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9	1		1	日による。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11				

◎この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。